

《担当者名》 橋本 菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryo-u.ac.jp 篠原辰二（非）

【概要】

多様化・複雑化する社会に生じる様々な生活課題に対して、社会福祉士がそれらの課題に対し支援する際に活用する理論と方法を事例等を活用して具体的に学ぶ。

【学修目標】

- 援助関係を形成するための知識と技術について説明できる。
- 面接の目的・方法・技法について説明できる。
- アウトリーチ・ネットワークの理論と方法について説明できる。
- ソーシャルワークに関連する技法について説明できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション ソーシャルワークにおける援助関係の形成	・援助関係の意義と概念を説明できる。 ・ソーシャルワーカーとクライアントシステム（ミクロ・メゾ・マクロ）との援助関係の形成について説明できる。	橋本
2	ソーシャルワークにおける援助関係の形成	・援助関係の形成に必要な自己覚知と他者理解について説明できる。 ・コミュニケーションとラポール形成について説明できる。	橋本
3	ソーシャルワークにおける援助関係の形成	・援助関係の形成方法と留意点について説明できる。 ・バーステックの原則について説明できる。	橋本
4	ソーシャルワークにおける面接技術	・面接の意義、目的、方法、留意点について説明できる。 ・面接の場面と構造を説明できる。	橋本
5	ソーシャルワークにおける面接技術	・面接の技法について、技法の種類と各技法の特徴について説明できる。	橋本
6	ソーシャルワークに関連する方法	・ネゴシエーションの意義、目的、方法、留意点について説明できる。	篠原
7	ソーシャルワークに関連する方法	・ファシリテーションの意義、目的、方法、留意点について説明できる。	篠原
8	ソーシャルワークに関連する方法	・プレゼンテーションの意義、目的、方法、留意点について説明できる。	篠原
9	カンファレンス	カンファレンスの意義と目的、方法、留意点について説明できる。 ・カンファレンスの運営と展開について説明できる。	篠原
10	アウトリーチ	・アウトリーチの意義、目的、方法、留意点について説明できる。 ・ソーシャルアクションの意義、目的について概説できる	篠原
11	アウトリーチ	・アウトリーチを必要とする対象について説明できる。 ・ニーズの掘り起しについて説明できる。	篠原

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	アウトリーチ	・事例を用いて、アウトリーチの方法検討を行い、検討案を列挙することができる。	篠原
13	アウトリーチ	・事例を用いて、アウトリーチの方法検討を行い、検討案を列挙することができる。	篠原
14	ネットワークの形成	・コーディネーションとネットワーキングの意義、目的、方法、留意点を説明できる。	篠原
15	ネットワークの形成	・事例を用いたグループワークで、ネットワーク形成とシステム化について検討を行い、概説することができる 《ワークショップによる体験》	篠原

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

「ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)」日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規 2021

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」に該当する。

【学修の準備】

- ・予習としてシラバスに準じて事前に教科書を読み、わからない語句については、用語辞典等を用いて事前に調べる（2時間）
- ・復習として授業後は教科書や配布レジュメ等を用いて要点整理を行い、分からない点については次回の授業までに自分で調べるもしくは担当教員に確認すること（2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を習得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し、解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

橋本菊次郎（精神保健福祉士）篠原辰二（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士・社会福祉士の実務経験を活かし、ソーシャルワークに求められるミクロ、メゾ、マクロのスキルに関する基本的知識を講義する。